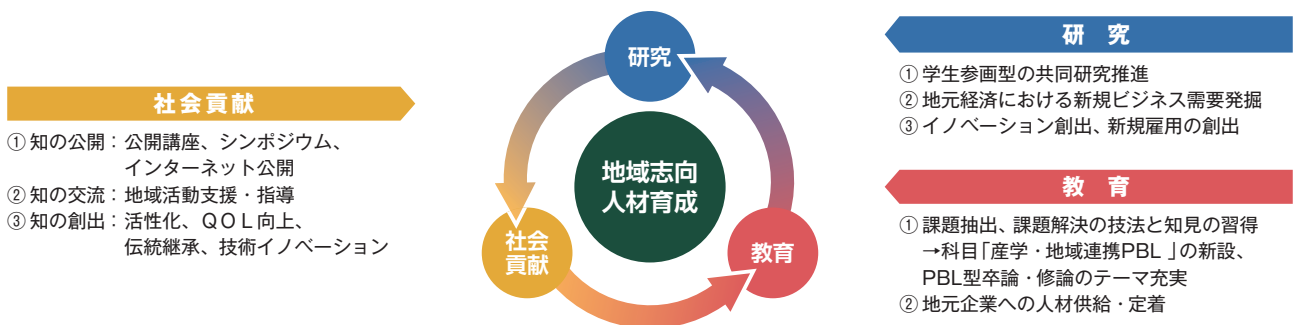


# 事業概要

## 地域・大学一体型人材育成システムの基盤確立と、それを活用したグローバル人材育成への総合展開

- 「まちづくり」と「ものづくり」の観点から地域志向教育研究プロジェクトを編成し、大学が立地する江東区・港区・埼玉県・さいたま市と連携しながら、教育・研究・社会貢献を三位一体で推進し、地域ぐるみの人材育成システムを確立させる。
- さらに、それを活用して、大学の人材育成目標である、「社会(世界)に学び社会(世界)に貢献できる理工系人材」の育成につなげる。

### 地域のニーズ・地域の課題・地域団体との連携・実践教育の場の提供



学年	1年	2年	3年	4年
地域志向授業科目	地域の事例・課題の理解と解決策に関する科目群			
地域連携PBL		地域課題解決に対する提案を行う演習群		
地域志向研究論文				卒業論文

地域イベントや地域公開講座への参加

### 地域志向カリキュラムの特徴

より多くの学生が、地域と連携して課題抽出、分析・計画、課題解決アプローチなどの実践能力を磨くことを目指して下記を設定している。

<b>地域志向授業科目</b> 少子高齢化、エネルギー・水・食料・環境、地域の安全・安心、産業振興など地域社会の問題を取り扱う授業科目	<b>地域連携PBL</b> 地域貢献を体現できる実学教育の場として、フィールドワーク等の演習活動の中でグループディスカッションを通して課題解決策を検討する科目	<b>地域志向研究論文</b> 地元企業や自治体のニーズを背景にして、地域の事例・課題をテーマとして取り上げた研究論文
--	---	--

■上記カリキュラムを通して、地域の課題解決に貢献する、地域志向人材の育成を目指している。

### 地域志向教育研究推進体制

地域の他機関および市民と積極的に交流を推進し、地域志向ならびに地域創生に寄与する人材を育成することを目的として、地域共創センターを設置。この組織は豊洲、大宮、芝浦の各キャンパスに拠点を置く。

地域志向教育研究プロジェクトの採択にあたっては、本部内に審査委員会を編成し、書類審査に基づき決定している。

